

リインシュアランス・グループ・オブ・アメリカ・インコーポレーテッド 2022年度第4四半期決算報告および事業概況

2023年2月2日 Reinsurance Group of America, Incorporated (ニューヨーク証券取引所コード: RGA) は、2022年度第4四半期の決算を発表しました。CEOアナ・マニングは次のように述べています。

「RGAは非常に好調な2022年度通期実績を達成しました。第4四半期は、当社の事業セグメントの多数で堅調な業績を収めています。グローバル・ファイナンシャル・ソリューション部門は、すべての事業地域・商品ラインにおいて非常に優れた実績を上げ、アジアのトラディショナル・セグメントの事業も好調でした。第4四半期は、米国の団体保険ビジネスおよび個人第3分野のビジネスも好業績を収めています。既存事業の成長に加えて、既契約ブロック等においても新規案件が継続的に増加しております。

第4四半期には、8000万ドルにおよぶ既契約等の取引を実行し、通期ベースで投下した資本の総額は約4億3000万ドルになりました。また、2500万ドルにおよぶ自社普通株式を第4四半期に買戻し、通期ベースでは7500万ドルの自社株式買戻プログラムを実行しました。当社は強固な財務基盤を維持し、余剰の資本は四半期末時点で約12億ドルに上ります。好調なビジネス環境およびRGAのグローバルな事業体制を鑑み、今後も明るい見通しにあり、引き続き堅調な業績を収める見込みです」

2023年1月31日に取締役会は、四半期配当金0.80ドルを2月14日時点で株主名簿に記載のある株主に対し2月28日に支払うことを発表しました。

2022年度 第4四半期 決算報告*

- 純利益は2億400万ドル（前年同期1億5600万ドル）、希薄化後一株当たり純利益は3.02ドル（前年同期2.30ドル）になりました。
- 調整済営業利益**は2億200万ドル（前年同期調整済営業損失3800万ドル）、希薄化後一株当たり営業利益は2.99ドル（前年同期一株当たり営業損失0.56ドル）になりました。
- 連結ベースの保険料収入（正味）は、為替の悪影響1億6400万ドルを受け、前年同期から1.1%増加し、34億ドルになりました。
- その他の包括利益累計額を含む一株当たり簿価は62.16ドル、その他の包括利益累計額を除く一株当たり簿価**は146.22ドルになりました。

2022年度 通期決算報告要点*

- 通期ベースの純利益は6億2300万ドル（前年度6億1700万ドル）、希薄化後一株当たり純利益は9.21ドル（前年度9.04ドル）になりました。
- 通期ベースの調整済営業利益**は9億7700万ドル（前年度7700万ドル）、希薄化後一株当たり営業利益は14.43ドル（前年度1.13ドル）になりました。

*数値はすべて米ドル表示

** GAAP 会計基準に準拠しない財務指標については注記をご参照ください

事業の概況 (2022年度 第4四半期～現在まで)

- 2023年1月4日 RGA は、取締役会において、トニー・チェンが RGA の社長に就任し、アナ・マニング CEO の後任となることを発表しました。マニングは、かねてからの計画に基づき 2023年12月31日に CEO を退任し、取締役会は 2024年1月1日にチェンを CEO に任命する予定です。また、取締役会はチェンを即時に取締役に任命しました。
- 2023年2月1日 RGA は、フォーチュン誌の『World's Most Admired Companies (世界で最も賞賛される企業) 2023』に選出されました。同ランキングは、長期投資価値や経営陣の質、イノベーション、社会的責任、優れた人材を採用・維持する能力等、9つの基準に基づく、各業界の経営者や取締役、アナリスト等の企業評価により決定されます。
- RGA は、世界有数の生命保険会社を傘下に有し多様な金融サービス事業を行うウェスタン・アンド・サザン・ファイナンシャル・グループ (本拠地：オハイオ州シンシナティ) と長寿対応再保険を締結したことを発表しました。17億米ドルにおよぶ長寿スワップ取引により、RGA は約1万1000件の一時払即時年金契約を受再します。
- RGA リインシュアランスカンパニー・ミドル・イーストは、中東インシュアランス・レビュー誌が 2022年に実施した年間表彰制度、第9回中東インシュアランス・インダストリー・アワードにおいて「すべての人に経済的な安心をお届けする」というコミットメントと情熱を高く評価され、中東・北アフリカ地域で「Life Reinsurer of the Year (生命再保険会社年間最優秀賞)」を受賞しました。
- RGA は、高齢者介護の改善とヘルシーエイジングの実現を目指した SOMPO ホールディングス株式会社との新たなパートナーシップを発表しました。高齢者介護における経験や高齢化に関する知見、既存事業における豊富なデータ資産を活用し、健康状態の改善と経済的安定を実現する商品・ソリューションを共同で開発します。本協業を通して、両社の専門性を更に高め、顧客ニーズに合わせた商品を提供するため、データ分析にも取り組みます。
- RGA は、複数のレーティング・ファクターや併存疾患の相互関係の研究や定量化を行い、よく見られる致命的な疾患の多数について世界の研究機関が理解を深められるよう、レスター大学 (英国) と新たなパートナーシップを開始することを発表しました。RGA の資金援助により、身体運動、心拍数、認知機能、睡眠時間等のライフスタイルや健康増進活動に基づく健康状態の予測 (がん、糖尿病、心血管疾患、死亡等) について、レスター大学が研究を実施します。
- RGA と RGA のイノベーションセンターである RGAX は、がんに限定した女性向けデジタル商品 Plan V Care の発売開始を発表しました。生命保険分野のイノベーションに特化した生命保険、特定疾病保険を扱う英国生命保険会社 Covea Life、および保障性商品に関するテクノロジーや業務委託の主要なプロバイダーである Direct Life and Pensions と協業し、RGA は、ミレニアム世代女性のニーズに適合した消費者ダイレクト販売ソリューションを開発しました。
- RGA は、米国のお客様への対応として、Management Research Services (MRS) が提供する業界トップクラスの SaaS 型引受査定ワークベンチを導入することで引受査定のエコシステムを拡張

しました。MRS との協業により、ノーコードプラットフォームを実装し、RGA は革新的な引受査定プログラムをお客様に迅速に設定・実行することが可能です。

各事業子会社について、以下の表に示す通り、第 4 四半期における財務力格付の変更はありません。

	RGA Reinsurance Company (主要事業子会社)	RGA Americas Reinsurance Company, Ltd. (バミューダに拠点を置く事業子会社)	RGA Life Reinsurance Company of Canada (カナダの事業子会社)	RGA International Reinsurance Company dac (アイルランドに拠点を置く事業子会社)	RGA Global Reinsurance Company, Ltd. (バミューダに拠点を置く事業子会社)	RGA Reinsurance Company of Australia Limited (オーストラリアの事業子会社)	RGA Atlantic Reinsurance Company, Ltd. (バルバドスに拠点を置く事業子会社)	OmniLife Insurance Company Limited (英国に拠点を置く事業子会社)	RGA Reinsurance Company (Barbados) Ltd. (バルバドスに拠点を置く事業子会社)
S&P 保険財務力格付	AA-	AA-	AA-	AA-	AA-	AA-		A+	AA-
AM ベスト	A+	A+	A+				A+		
ムーディーズ	A1								

当社の 2022 年度第 4 四半期決算報告の詳細内容は、当社ホームページ (www.rgare.com) の Investor Relations をご参照ください。

RGA の概要

RGA は生命再保険および財務ソリューションに特化し、お客様のリスク管理や資本最適化を支援する世界有数の生命再保険会社です。RGA は 2023 年に設立 50 周年を迎えます。1973 年の設立以降 50 年の間にグローバルに認められる世界最大級の再保険会社になり、フォーチュン誌の『World's Most Admired Companies (世界で最も賞賛される企業) 2023』にもランキングされました。RGA は「すべての人に経済的な安心をお届けする」をパーパスに掲げ、事業を遂行しています。リスク管理や引受査定における高度な専門性、革新的な商品ソリューション、および優れた顧客対応において定評があります。RGA は世界中の主な市場で事業を展開し、2022 年末時点で再保険引受保有額約 3 兆 4000 億ドル、総資産 847 億ドルを有します。

当社および当社の事業の詳細内容は、当社ホームページ (www.rgare.com) をご参照ください。

注記事項

GAAP 会計基準に準拠しない財務指標について

当社は、調整済営業利益という GAAP 会計基準に準拠しない財務指標を業績結果の分析に用います。また当社の業績連動報酬制度の目標設定・業績評価も同指標に基づきます。調整済営業利益 (税引前および税引後) は、キャピタル (ゲイン) ロス、および組込デリバティブの公正価値変動や関連する繰延新契約費の影響を受けないため、当社の継続事業の収益性およびトレンドを適切に示していると考えられます。信用市場や金利環境を受けて、前述のキャピタル (ゲイン) ロス等は変動し得るものの、必ずしも当事業の業績を反映しないことがその理由です。また、調整済営業利益には、当社の現行事業を反映しない非継続事業の純利益 (損)、および会計基準変更に伴う累積的影響は含まれません。調整済営業利益の定義は各社により異なり、GAAP 会計の純利益の代用とはみなされません。

当社は、その他の包括利益累計額を除く一株当たり簿価という GAAP 会計基準に準拠しない財務指標を用いますが、投資や為替換算の時価評価調整に主に伴う未実現損益の効果を消去し、貸借対照表の評価を行う上で重要と認識しています。

希薄化後一株当たり調整済営業利益は GAAP 会計基準に準拠しない財務指標であり、調整済営業利益を希薄化後発行済株式数加重平均で除して算定されます。調整済営業利益と同様に、同指標は、当社の継続事業の収益性およびトレンドを適切に示していると考えられます。また当社の業績連動報酬制度の目標設定・業績評価にも用いられます。

GAAP 会計の純利益、一株当たり簿価、希薄化後一株当たり利益への調整については、下表をご参照ください。当社ホームページ (www.rgare.com) の Investor Relations ページには、四半期報告書および「Quarterly Financial Supplement」に付加的な財務情報が掲載されています。

2022 年第 4 四半期 (10 月 1 日～12 月 31 日) 純利益から調整済営業利益への調整 (連結ベース)

(数値は未監査)

	単位:100万(一株当たり数値を除く)			
	2022年第4四半期		2021年第4四半期	
		希薄化後一株 当たり利益		希薄化後一株 当たり利益
GAAP 純利益 (損失)	\$ 204	\$ 3.02	\$ 156	\$ 2.30
キャピタル (ゲイン) ロス、デリバティブ他 (正味) (資産運用関連収益・損失に含まれる)				
キャピタル (ゲイン) ロス、留保資産 (資産運用収益に含まれる)	(11)	(0.15)	(24)	(0.36)
組込デリバティブ:	1	0.01	(1)	(0.01)
資産運用関連 (収益) 損失 (正味) に含まれる				
投資利息に含まれる	41	0.60	(39)	(0.57)
繰延新契約費 (正味)	1	0.01	(8)	(0.12)
ユニットリンク型変額年金投資収益	(28)	(0.41)	21	0.31
ユニットリンク型変額年金投資利息	2	0.03	(4)	(0.06)
未確定な税金債務の支払利息	(2)	(0.03)	4	0.06
投資性のない為替デリバティブ	-	-	(27)	(0.40)
未確定な税金債務とその他税関連	1	0.01	4	0.06
非支配株主持分による純利益	(9)	(0.13)	(120)	(1.77)
調整済営業利益 (損失)	2	0.03	-	-
	\$ 202	\$ 2.99	\$ (38)	\$ (0.56)

一株当たり簿価(「その他の包括利益累計額を含む」から「その他の包括利益累計額を除く」への調整)

(数値は未監査)

	12月末時点	
	2022年	2021年
一株当たり簿価 (その他の包括利益累計額を含む)	\$62.16	\$193.75
為替換算調整累計額	(2.56)	(0.13)
有価証券未実現益 (損)	(81.10)	55.09
退職年金・給付	(0.40)	(0.74)
一株当たり簿価 (その他の包括利益累計額を除く)	\$146.22	\$139.53